



キク (キク科 キク属)

平安時代に中国から日本に伝わりました。観賞用に改良され、今はたくさんの品種があります。今回おとどけするのは花が大きな「輪タイフ」のもので、花びらが細く花火のような「アヌスタシア」と、お月さまのようにまんまるな「ピンボンナム」です。どちらもヨーロッパでつくられた種類で、ガーデニングや切花として親しまれています。



ハマナテシコ (ナテシコ科 ナテシコ属)

海岸の岩の上や砂浜でよく見られます。ナテシコとは撫でたくなるほど可憐で小さな花と可愛らしい姿を子どもにたとえた「撫でし子」からつけられています。このハマナテシコは、花の色がフジの花に似ていることや、竝に咲くことから「フジナテシコ」「ナツナテシコ」とも呼ばれ、切花やグランドカバーとしても利用されています。花言葉は「陽気な恋」「純愛」「無邪気」です。



野バラの実 (バラ科 バラ属)

5月頃に白やピンクの花が咲く「野バラ」の実です。花が終わると青い実をつけ、秋になると真っ赤に熟し、ドライフラワーとしてリースなどにも使われています。実は「ローズヒップ」と呼ばれ、美容と健康によく、お茶として飲まれたりもしています。野バラの实の花言葉は「無意識の美」です。トゲがある種類もあるので、扱うときはじゅうぶん注意しましょう。

がつ にち つきみ
9月8日はお月見です!



お月見とは旧暦の8月15日に月を觀賞する行事で、この日にはおだんごやお餅、ススキなどをお供えて月を眺めます。お月見の日は毎年かわりますが、2014年は9月8日です。みなさんもおうちでお花を飾って美しい月を眺めましょう。

